

# 一億総活躍社会の実現に向けた 「成長と分配の好循環モデル」の構築について

平成28年3月11日

伊藤 元重

榊原 定征

高橋 進

新浪 剛史

# 一億総活躍社会の実現に向けた成長と分配の好循環モデル

- 一億総活躍社会の実現に向けた施策の在り方を検討するため、下図の考え方に基づく「成長と分配の好循環モデル」を構築し、政策の在り方とそれに伴うマクロ面からの経済財政効果を明らかにすべき。
- その際、一億総活躍に向けた以下のような施策は、他の施策に比べて、
  - (1) 労働参加を促進することで、サプライサイドの強化に資すること
  - (2) 可処分所得の増加が、GDPの6割を占める個人消費の拡大に直接資すること
  - (3) 賃金・俸給の増加が、社会保険料収入や税収を拡大し、保険財政等の改善に直接資すること 等を明らかにすべき。(この他、経済成長の高まりが企業の設備投資を増加させる等の効果も期待できる。)
- こうした効果分析を踏まえ、「経済・財政再生計画」の枠組みの下、これら施策に対して財政支出を適切に振り向けることにより、結果としてその財源もしっかりと生み出していくという好循環を実現し、名目GDP600兆円に向けて経済の拡大を図っていくことが重要であり、迅速に対応することが必要。

